

## 平成25年度第1回教師力アップセミナーアンケート集計

### 共感・感動で心をはぐくむ —読み物資料を活用した深みのある道德の授業の秘訣—

5月11日（土）川崎雅也先生

#### <全体を通しての感想>

- ・感動するセミナーでした。すべてがためになり、発見がたくさんありました。道德の授業で子どもたちに「生きる大切さや楽しさ」を伝えていきたい。
- ・どう生きるかは、自分で決めること、「こう生きなさいではない」というお話が印象に残りました。どう思うかを学級みんなで共有して、道德的な価値に気づき深めていく授業を自分もしたいと思います。非常に体系的にまとまっていて分かりやすい講義でした。
- ・道德の授業について、大切なことがよく分かりました。川崎先生の人間力の素晴らしさを感じ、大変勉強になりました。
- ・大阪弁で心地よく進めていただき、大変癒され、自信を取り戻させていただきました。道德の授業は、硬く考えがちでしたが、受容・承認ならば私にもできるので、そこから始めて深めていきたいと思います。そして、資料をしっかりと読む力を磨き、教師力・人間力をつけていきたいです。
- ・道德が「どう生きるか」を一緒に考えていくものだというシンプルだけど、大切なことを教えていただいた。
- ・道德の授業はいつも決まった型でしかできず、主人公の気持ちの変化ばかり追っていました。これからは資料をよく読み、最後には「生きる」につなげていけるようにしたい。
- ・道德の授業の組み立て方とともに、授業者の姿勢、うなずき、仕草など教師としての基本を学ぶことができた。
- ・「本音は声が小さくなる」など、学ぶことが多い講座でした。川崎先生の熱い姿勢に励まされる思いで是非、もっと勉強したいと思いました。
- ・道德の授業の素晴らしさ・大切さを改めて感じることができました。（多数）
- ・とても具体的で今後に活かしていける内容でした。
- ・授業というものの考え方、道德の考え方が根底からくつがえされました。本当に心からきれいになったと思う。
- ・分かりやすかった。実践の裏付けがあって納得できた。
- ・授業の進め方について勉強できましたが、それ以上に自分がどう生きたいのかについて考えることができてよかった。
- ・教育は子どもに夢や希望を与える。資料の読み取りと人間力・教師力の大切さを改めて知りました。道德の時間をよりよいものにしていきます。

- ・ただただ落ちました。皿が大きくなりました。
- ・生きるということがとても感動することだと思った。
- ・涙が出て止まらなくなる授業、話術・技術は心の賜物だと思いました。
- ・教師力・人間力の大切さ、基礎づくりを一生やっていきます。教師としてどう生きるかを考えて修行していきます。
- ・道徳の授業が国語になってしまう。悩んでいたことへの答えが今日、分かりました。学んだことを実践してみます。
- ・まだまだ教材研究が足りないなと感じました。子どもたちと「生きること」について考えていきたいです。
- ・子どもたちに問いかけたとき、自分の意見が今回の大人たちのように、自由に言える学級経営が難しいと思う。
- ・川崎先生の話しぶりが面白かった。道徳の授業は大切にしなければならないと思った。
- ・どんどん深めていかれる先生の質問や展開が素敵でした。
- ・テンポよく、また、泣ける場面もある素敵な授業をありがとうございました。道徳を心に響く1時間にしたいです。
- ・道徳の授業に自信がなく、いつも悩んでいました。それは自分に自信がなかったり、資料の読み込みが足りなかったり、自分がどう在りたいか、道徳で何をしたいかがなかったからだと思います。子どもたちとともに考えていくという視点でやっていけば、違ったものになるのかなと思いました。
- ・初任者で、道徳はなかなかうまくいかないし、子どもの心に響くような授業ができないと悩んでいたのも、とても勉強になった。教師力・人間力を高めていきたいです。

#### **<読み物資料の活用・板書等について>**

- ・資料の読みの甘さ、ただ単に主人公の気持ちを追っていた自分を反省しました。自分の授業が上滑りの状態だったと気付きました。まずは、自分の心に響く資料をみつけて何度も挑戦してみようと思います。(多数)
- ・資料の持つ力を改めて感じた。道徳は資料第一。いい資料を教えていただけて、よかった。(多数)
- ・過去の自分(主人公)が助言者によって変容し、未来のことを考える流れがよく分かりましたし、意見を深めるための板書の考え方を知ることができて勉強になりました。
- ・読み物資料の読み取り方を知りたい。
- ・資料は自分が感動したものを選択すること。「生きる」ことをテーマによりよく生きることを共に考えることをしていこうと思いました。未来を考えることを目指して、授業を組み立てたいと思います。気付かせることの大切さを心していきます。
- ・資料をどう扱うかを教えていただいた。基本構造とそれ以外の構造の扱い方があるのを知り、驚きでした。

- ・資料と何度も向き合いたいと思います。
- ・読み物資料のどこが大事か、教師がよく分かっていないといけないと思う。
- ・道徳の板書は、指導書を参考にしているので川崎先生の板書を見て、分かりやすいし、子どもも答えやすくだろうなと思いました。
- ・映像・挿絵を見せない方がいいと思った。自由に想像させたい。
- ・映像や挿絵を使用しないことを聞いて、これらを慎重に扱いたいと思いました。子どもにいろいろと考えさせていかなければならないと思った。
- ・指導案までいただき、ありがとうございました。
- ・何度か読んでいる資料ですが、川崎先生のじんわり、あたたかな「読み」で心に深く響き、涙が出ました。「川崎ワールド」に引き込まれた素敵な時間でした。

#### <来年度セミナーに招きたい講師>

伊藤孝輝先生（名古屋芸術大学）、野口晃男先生 川島先生（食育）、義家先生